

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 29 年 7 月 13 日	
所属部局・職	野生動物研究センター・修士課程学生
氏名	岡桃子

<p>1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)</p> <p>愛知県犬山市 日本モンキーセンター</p>
<p>2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)</p> <p>動物園・博物館実習</p>
<p>3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)</p> <p>平成 29 年 7 月 8 日 ~ 平成 29 年 7 月 10 日 (3日間)</p>
<p>4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)</p> <p>日本モンキーセンター 伊谷原一 (JMC 園長、WRC 教授)、大淵希郷 (JMC キュレーター、WRC 特定助教)</p>
<p>5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)</p> <p>写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。</p> <p>7/8 午前 園長によるレクチャー 午後 園内見学/標本実習 7/9 午前 教育・科学コミュニケーション実習 午後 飼育実習 7/10 午前 エンリッチメント実習 午後 博物館学概論/獣医実習/JMC 研究活動紹介</p> <p>本実習では日本モンキーセンター(以下 JMC)にて飼育担当者やキュレーター、獣医など、幅広い活動、仕事を実習を通して体感、経験することができた。 初日には園長から JMC の歴史や目的などの概要を聞き、午後からは実際に施設内を案内してもらった。 その後 JMC でどのように標本を作製しているか、作成した標本の使用方法を聞き、実際に自分たちで標本を観察した。骨を見るだけで、その個体の年齢や病気(関節症など)を推定することができることを知った。また生前のデータと標本を比較することで新たな知見を得ることができることが飼育下個体を標本にする目的だと聞き、教育としても研究としても重要だと感じた。実際に自分たちで標本の仕分けも行い、今までテキストの知識でしか知らなかった関節の仕組みや骨盤の性差などといったことを、骨を触って改めて実感した。</p> 

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

写真 1. ニホンザルの骨格標本

2 日目は教育・科学コミュニケーション実習から始まった。ちょうど自分の研究のテーマと重なっていることもあり、とても興味深く得るものが多かった。今までぼんやりとした認識であった「科学コミュニケーション」という分野について、しっかり理解することができたと思う。来園者の興味がどこにあるか研究するとき、私はウェアラブルカメラを用いたアイトラッキングや滞在時間の測定くらいしか方法が知らなかったが、この実習で行ったような会話を聞く、絵をかいてもらうなど、他の方法を知ることができ、自分の研究にも応用したいと感じた。

2 日目の午後と最終日の午前に行われた飼育実習およびエンリッチメント実習では、私はアフリカセンターにてマンドリルやチンパンジー、ゴリラを担当させていただいた。エンリッチメントに関して知識はあっても実際にフィーダーをつくるのは初めてで、けっこうハードな体力仕事だと感じた。竹を切って穴をあけて中に果物をつめたり、木にくぼみをつくってバナナをつめたりと、アイデアやイメージとして思い浮かぶものも、実際に作ってみると大変だった。エンリッチメントをやろうと提案するのは簡単だが、エンリッチメントを定期的には時間もコストもかかるということを再認識し、バランスのとれたエンリッチメントが大切だと感じた。



写真 2. 果物や野菜をカットしてフィーダーにつめる

写真 3. ゴリラのごはんタイムに来園者も多く集まっていた

最終日の午後は講義中心で今まで実習で行ったことや園内で見たものを反芻しながら聞くことができた。また獣医実習では新たに麻酔関係の知識を得ることができた。ワオキツネザルの全身麻酔および怪我の処置、後肢のリハビリも見学させていただき、動物園での獣医の活動を垣間見ることができたと思う。



写真 4. 麻酔についての講義を聞く

写真 5. 全身麻酔をかけられたワオキツネザル

6. その他 (特記事項など)

本実習は PWS リーディングプログラムの援助を受けて行いました。実習期間中、ご丁寧に指導してくださいました先生方、およびプログラム関係者の皆様に感謝申し上げます。